

[番組名] FMぐんま「あさナビ」
[放送日] 2014年1月10日
[テーマ] 2014年の県内景気の展望

(アナウンサー) 群馬県内の今年の景気見通しについて、お伝えします。日本銀行前橋支店の相良雅幸支店長に県内景気の展望を伺いました。

(記者) この年末年始の印象はいかがだったでしょうか。

(相良支店長) 年末年始で最も注目されるのは、消費の動向だと思います。これまでの動きをみますと、まず自動車販売は、堅調な動きが続いております。家電販売も、まずまずのようです。また、小売店の販売は、天候や日並びが良かったこともあって客足が増え、福袋だけでなく高額品や衣料品などが昨年よりもよく売れたようであります。

観光面では、JRの乗客が増えたことにも表れていますように、スキー客や温泉旅館の宿泊客などの入り込みが比較的良好だったようです。

初詣の神社などでは、お賽銭や奉納品が昨年よりもやや良くなったとの話も聞いております。

(記者) お話を聞いていると景気がよくなりそうだという印象を受けますが、実際のところ、今年の県内の景気はどうなりそうでしょうか。

(相良支店長) 今年の群馬県内の景気は、緩やかな回復が続くとみております。その理由をやや具体的に申し上げます。まず輸出は、増加が続くと考えられます。これまでの輸出増加は、輸送用機械関連が中心でしたが、今後は業種の拡がり期待されます。

(記者) 今まで自動車は県内景気を引っ張っていると言われていましたが、これが拡がってきそうかどうかということですか。

(相良支店長) はい。円安効果というのは、これからまだ徐々に浸透してくる部分があることと、昨年に比べて海外経済がより堅調さを増すと思っているからです。欧州は、昨年はマイナス成長でしたが、今年はゼロからプラスの方に転じると考えられますし、米国は引続き堅調です。それに加えて、中国も昨年は減速感が強まりましたが、今年は安定した成長を維持できると見込まれます。これらを背景にして、輸出産業は、輸送用機械以外の業種についても、プラス効果がじわじわと拡がっていくと思っています。

(相良支店長) また、国内も個人消費・設備投資が雇用・所得環境の改善、および企業収益の改善を背景に良くなっていくと思っておりますので、その関連の業界にもプラスの効果が出てくるのではないかと思います。

(記者) 転機となる出来事や時期はいかがでしょうか。

(相良支店長) 2つあります。まず、4月の消費税率の引き上げが挙げられます。これは、引き上げ前の駆け込み需要とその反動というフレをもたらすと考えられます。反動で落ち込む期間はある程度続くと思いますが、一方で経済対策による下支え効果もあります。消費増税の影響は、今後の所得環境や物価動向によって変動いたしますので、注意深くみていく必要があります。

2つ目は、賃金の動向です。短観調査では、県内企業の今年度収益は、製造業、非製造業ともに増収増益見込みにありますので、今春のベアをめぐる労使協議の行方や、夏の賞与を巡る動きなどが注目されます。

(記者) 消費増税が心配される一方で、賃金が上がればということだと思っておりますが、相殺されてしまうようなことなのでしょうか。

(相良支店長) ベアを巡る交渉や夏の賞与の幅にもよりますが、言えることは、昨年の、特に後半ぐらいから残業が増えて、その残業の部分は少なくとも個人の収入としてはプラスに影響が出てきていると思います。さらに雇用の環境自体が良くなってきて、働く方の数が増えていけば、その方々の分の賃金は経済にとってプラスの効果をもたらしますので、そういった点での経済全体としてのプラス効果というのは、これまでも着実に上がりつつあるし、今後も上がっていくと思っておりますので、ある程度、消費税率の引き上げの部分はカバーできるという状況になるのだらうと思っております。

(記者) そう考えると、今年は比較的、良い年になりそうだと受けとめられるのですが、それ以外のところで、注意しておくべきポイントはございますか。

(相良支店長) 海外経済の動向と為替・株価など市場の動向が挙げられます。まず、海外経済は、基本的には安定した成長を続けるとみております。ただ、米国の財政問題や欧州債務問題の動向、中国における構造改革の行方など不確実な要素がありますので、引き続き注意が必要だと思います。次に市場の動向については、この1年間、概ね円安・株高が続いたと思います。こうした動きは、企業や家計のマインドの改善にもつながりました。

(相良支店長) ただ、海外経済の動向や海外の金融政策の動き次第では、為替相場や日本の株価、金利にも影響が及びますので、注意深くみていく必要があると思っております。

(記者) そうすると、国内的には消費税の増税がありつつも、順調な見通しの中で、注意すべきは海外ということになるのですか。

(相良支店長) はい。仰るとおりでして、国内としては、気になる要素は消費増税を含めて、無くは無いです。それが、それほど大きなマイナス要因として長引くとは見ていない一方で、やはり不確実な海外経済およびその影響を受ける為替や金融市場の動きは、読み込むことがなかなか難しいことです。この点が大きなリスクの要因と考えております。

(アナウンサー) 日本銀行前橋支店の相良雅幸支店長に今年の県内景気の展望を伺いました。

以 上